

宇都宮市におけるSDGsの理解促進について



栃木県宇都宮市
宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム運営本部

6班 コミュニティデザイン学科 高橋希良 渡部 葵
建築都市デザイン学科 石塚颯太 原沢遥佳
社会基盤デザイン学科 穂積里紀 横山大樹

01背景

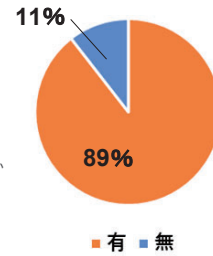
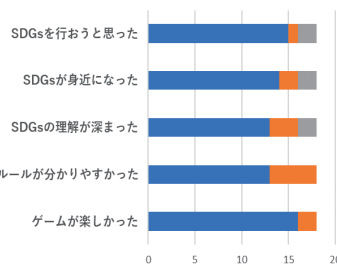
令和3年度に行われた市政に関する世論調査より、SDGsの認知度は約7割と前年度に比べて大幅に向上したことが分かる。しかしその一方でSDGsの実践率は約2割と低いことが明らかになった。(図1の青丸の合計)

また、認知度の内訳を見ると、SDGsについて全く知らなくて実践していない人のほか、SDGsという言葉、あるいは内容をある程度知ってはいるが実践は行っていない人も一定数いることが分かった。(図1)

このようなことから、SDGsの認知から実践につながるような要因を調査し、SDGsについて知って終わりではなく実践につなげるための誘致が必要であると私たちは考えた。

04分析結果

対象：ワークショップに参加した小学校高学年の児童20人 (回収率90%)
回答属性 9歳：6人 10歳：5人 11歳：6人 12歳：1人



- 取り組み例
- エコバッグ
 - 水筒
 - 節電
 - 残さず食べる
 - ゴミを減らす
 - 分別
 - 自動車を使わない
 - 地元産を使う
 - 太陽光発電
- 取り組みない理由
- 意識したことがない
 - 身近に感じない
 - 何をすれば良いかわからない

図2 SDGsMATCHを使用した感想

図3 SDGs実践の有無とその内訳

⇒SDGsMatchは有効的なツールである、SDGsへの理解を促すようSDGsMatchの改善、ルールを分かりやすくする工夫が必要である。

⇒身近な行動とSDGsを関連づけることが出来ていない。取り組み例が環境問題に偏っている。

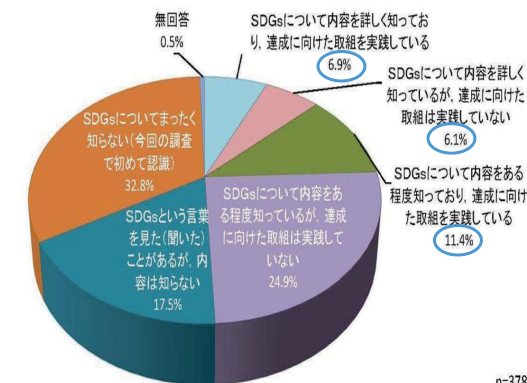


図1 SDGs認知度の内訳 (第53回宇都宮市政世論調査報告書より)

05提案

私たちはSDGsMatchを前年度から改良し、実践率の向上につながるような改定を施した。しかしながら、今後もSDGsの普及、実践度強化を目的にSDGsMatchを活用していく上ではいくつかの改善点がある。以下に主な改善点を示す。

また、SDGsMatchそのものの改定とは別にSDGsMatchというものを広めるための活動も行った。私たちはSNSアカウントを作りそこから発信を試みたが、SNSアカウントを作る時期が遅く十分な成果を上げたとは言えない。そこで、SNSやHPの作成を通じてSDGsMatchを世の中に発信していくということも並行して行っていくべきである。

02目的

これまでの取り組みにより、SDGsの「認知度」は大幅に向上している。しかし、背景から明らかであるように、「実践率」は「認知度」ほど向上しておらず、SDGsの実践率は約2割という事が現状である。この問題を解決するために昨年度の成果物であるSDGsMatchに着目した。SDGsMatchはSDGsを「知るツール」として開発されたが、内容や使い方を改善することで、SDGsを「正しく深く理解し、実践する」ツールに進化させ、広報活動を通してSDGsMatchをより一層広め「実践率」の強化を図る事を本プロジェクトの目的とする。

03方法

宇都宮市SDGs人づくりプラットフォームの会員様である「おやつカフェなないろ」様にご協力いただきSDGsの実践について聞き取り調査を行った。

聞き取り調査をもとに、SDGs普及啓発イベントに参加させていただき、SDGsMatchを用いたワークショップを行った。アンケート調査を行い、SDGsMatchの有用性や改善点及び、SDGsの実践状況を明らかにし提案を検討した。

改善したSDGsMatchを①市役所の方とその家族様、②地域デザイン科学部学生、③特定非営利活動法人うつのみや環境行動フォーラム顧問再生可能エネルギー部会様に使用していただき、カードの内容・使い方についてアンケート調査及び意見交換を行った。これらの調査結果をもとに更なる改善案と実践を検討した。

〈カード改訂内容〉

- SDGsアイコンを一覧にする。
- 説明文の簡略化と具体性の増加 (ex.電気30%削減)
- 解説の追加
- 枚数の調整



図4 カードの修正内容例 (手札)

〈広報方法〉

Twitter・Instagram

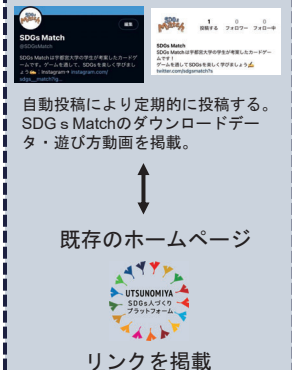
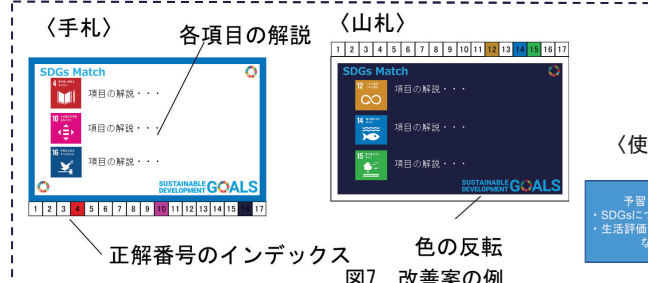


図5 広報について

06改善案

改善したSDGsMatchを体験していただいた14人にアンケートを行った。図5からも明らかなようにアイコンをすべて並べた影響で見づらいという指摘と以下の2つの指摘が多かった。

- ①手札と山札の違いが分かりにくい
 - ②事前学習と振り返りがあった方が良い
- 視認性の向上及び予習復習の観点から以下の改善案を提案する。



カードの文字やアイコンの大きさは適切でしたが

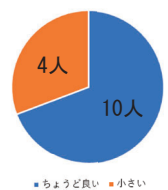


図6 見やすさについて

〈使用の流れ〉

